

アジア史探訪

史料の杜^{もり}をゆく

歴史研究には史料の収集と分析が欠かせません。歴史教育の現場でも、近年は史料の活用が重視されています。

この講演では、本年3月に刊行された成蹊大学文学部学会編『歴史の蹊、史料の杜^{こみち}—史資料体験が開く日本史・世界史の扉^{もり}』（風間書房、2023年）の執筆者のうち、日本を含むアジア史の専門家4名が登壇し、史料との出会いやつきあい、そして研究の新展開や自身の成長体験にふれつつ、アジア史の豊かな魅力を伝えます。

講演テーマと講演者（登壇順・敬称略）

「外交文書を発見する—日本政治外交史」



成蹊大学文学部准教授
樋口 真魚

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了博士（文学）
専門は日本近現代史・政治外交史
おもな業績として『国際連盟と日本外交』（東京大学出版会、2021年）

「檔案館に通う—中国近現代史」



埼玉大学教養学部・大学院人文社会科学研究科准教授
久保 茉莉子

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了博士（文学）
専門は中国近現代史・法制史
おもな業績として『中国の近代的刑事裁判』（東京大学出版会、2020年）

「書簡史料をたぐる—トルコ近現代史」



成蹊大学文学部教授
佐々木 紳

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了博士（文学）
専門はトルコ近現代史
おもな業績として『オスマン憲政への道』（東京大学出版会、2014年）

「新聞・雑誌史料を読み解く—中央アジア近現代史」



公益財団法人東洋文庫研究員・東京大学名誉教授
小松 久男

東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退 修士（文学）
専門は中央アジア近現代史
おもな業績として『近代中央アジアの群像』（山川出版社、2018年）

司会 成蹊大学文学部教授 中野 由美子



歴史の蹊、史料の杜
史資料体験が開く日本史・世界史の扉
成蹊大学文学部学会 編 責任編集 佐々木 紳

参加無料

定員400名

| 申込不要 |

2023

7/29 土

14:00-16:30 [開場13:30]

成蹊大学4号館ホール



詳細は、公式ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.seikei.ac.jp/university/caps/>

※本講演会のオンライン配信はございません。